

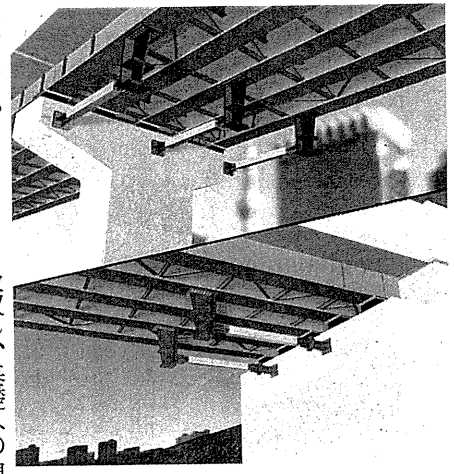
JFEシビル

土木向け耐震・制振デバイス  
各種ブレース・ダンパー

JFEシビルは、土木向け耐震・制振デバイスの拡充に注力している。座屈拘束ブレース型の商品としては、1994年販売開始以来、デザイン性に定評のある「二重鋼管タンパー(二重鋼管座屈補剛ブレース)」「橋梁実

品がある。

また、橋梁耐震設計の要求に合わせた工法を提供している。柱とフーチング間に制震ダンパーを設置することで、地震エネルギーを

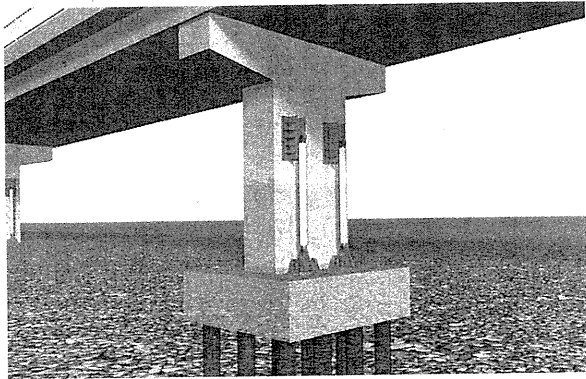


J-UPブレース工法

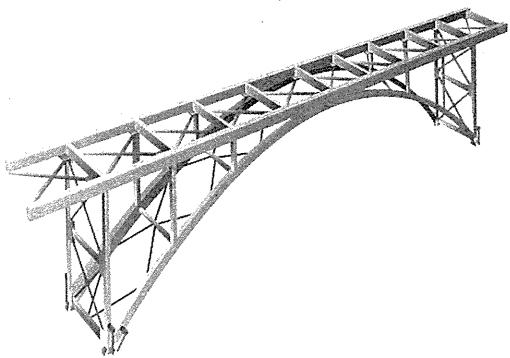
吸収し、基礎への負担を低減できる「橋脚タンパー工法(NETTIS登録CG-15001-1-A)」。

アーチ橋やラーメン橋の対傾構部に設置することで耐震性を向上する「橋梁ダンパー工法」補強対象橋脚が河川内にあり

ニーズに合わせ工法提供



橋脚ダンパー工法



橋梁ダンパー工法

補強工事が困難な場所  
で、護岸側の桁と橋台間にJ-UPブレースを設置することで、地震エネルギーを吸収する「J-UPブレース工法」の3工法がある。